

# 若いファン層の拡大と射幸性を抑えた遊技機開発を探る



日本電動式遊技機工業協同組合 理事長 里見 治

日本電動式遊技機工業協同組合(日電協)はパチスロメーカー25社で組織。里見治理事長(セガサミーホールディングス会長兼社長)に展望などを聞いた。

「パチンコ・パチスロ市場は縮小傾向です。正にも強い遊技機を開発して、メーカー・団体と連携してファンを育てていく必要がある。また『8月4日はパチスロの日』とし、東京・秋葉原のベルサール秋葉原で記念イベントを開いた。未経験者を含めて約1万3000人が来場した。これからは『パチスロ』というジャンルをどう育てていくかが求められる。遊技機の多様性も重要だ。『開発には厳しい設計が必要』」

「東日本震災後、社会貢献活動(CSR)を強化しています。『日電協では震災からこの間、被災地に累計3億以上の寄付・支援活動を実施している。また、パチスロ販売会社の組合である回胴遊商と連携、被災地である岩手県・宮城県・福島県のそれぞれで『仮設住宅カラオケ大会』や『ふるさと三陸オリジナル井筒グラブ』を企画している。』」

「若いファン層の拡大と射幸性を抑えた遊技機開発を探る」というテーマで、里見理事長は、遊技機の多様性も重要だ。『開発には厳しい設計が必要』と強調する。また、『パチスロ』というジャンルをどう育てていくかが求められる。遊技機の多様性も重要だ。『開発には厳しい設計が必要』と強調する。

## 「浜通りふるさとまつり2014」が開催 歴史・文化・食を通じて元気を取り戻す



2014年7月26日(福島県郡山市)において「福島県仮設住宅生活活性化企画」浜通りふるさとまつり2014(主催:パチンコ・パチスロメーカー)が地元自治体の後援で、パチスロメーカーの組合である日本電動式遊技機工業協同組合(日電協)とパチスロ販売会社で組織する回胴式遊技機商業協同組合(伊豆正則理事長)による特別協賛により開催された。イベントは「歴史・文化・食」を通じて笑顔と勇気、そして元気を取り戻すことを目的に開催された。



マシ=すいとん

当日は浜通りの地方の8市町村(南相馬、飯館、浪江、葛尾、大熊、富岡、川内、楢葉)から避難して仮設住宅で暮らす10カ所の仮設住宅による「浜通りふるさとまつり」も行われ、浜通りの郷土料理や創作料理の味を競い合った。来場者は6000人の震災支援金5つの屋台を歩き、1品を投票。1位には楢葉町から避難した津美里町が選ばれた。また、ステージ上では村上の田植え踊り(南相馬市小高区)、南津島の神楽と岡崎(浪江町)、子供向けの戦隊ショー、復興支援ソングが披露された。9月下旬には、地元テレビ局のテレビユニット福島においてイベントの内容が放送される予定。



「11年は東日本大震災から毎年イベントを実施」



「熱する魂」の持ち主をたどる「PS(パソ)」

## パチスロの魅力伝える「回胴祭2014」開催

2014年8月3日(パチスロ)で日本電動式遊技機工業協同組合(日電協)と回胴式遊技機商業協同組合(伊豆正則理事長)は、「回胴祭2014」を開催した。主催者あいさつで里見理事長は「皆さんに楽しんでほしい」と呼びかけた。イベントは、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。



「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

## 日電協と回胴遊商による社会貢献活動(2011~2014年)

### 2011

- 3月11日(金)「東日本大震災」発生
- 義援金の寄付と放射線量計を寄贈
- 両団体の加盟社による被災地への義援金総額5億6千万円を、日本赤十字社とNPO法人ジャパン・プラットフォームに拠出。
- 8月22日、カード式放射線量計1万枚を福島県と群馬県の自治体や幼稚園等に寄贈。
- ワゴン車を寄贈
- 炊き出し支援活動



放射線量計の寄贈

- パチボー・スロタンの夏祭り
- 飲食ブースや抽選会・ヒーローショーを開催。
- シャワーコンテナ支援
- 宮城県にて被災者に対するシャワー支援を実施。約3カ月間で計3500名の方が利用。
- プロ野球公式戦への子供たちの招待
- 日電協加盟メーカーが制作した「2012年パチスロカラコボカレンダー」の販売収益金と組合の復興支援費を活用し、被災地の子供たちをプロ野球公式戦(楽天VS日本ハム)に招待。
- カラオケ歌合戦 宮城県大会
- 11月に県内10カ所の仮設住宅にて「カラオケ歌合戦予選会」を実施。
- 12月10日にはイズミティ21(宮城県仙台市)にて決勝大会を開催。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

「回胴祭2014」は、パチスロの魅力を伝えることを目的に開催された。会場にはパチスロの実機も展示され、案内板が設置された。また、パチスロファンや未経験者など約1万3000人が来場した。

## 日本電動式遊技機工業協同組合は パチスロ(回胴式遊技機)市場の活性化および 健全化を促進することを主たる目的として活動を行っています

高砂電器産業(株)  
 (株)パイオニア  
 岡崎産業(株)  
 サミー(株)  
 (株)ユニバーサルエンターテインメント  
 (株)オリンピア  
 ネット(株)  
 (株)北電子  
 (株)メーシー  
 山佐(株)  
 (株)バルテック  
 (株)大都技研  
 (株)ロデオ  
 ベルコ(株)  
 (株)アリストクラートテクノロジーズ  
 (株)オーイズミ  
 K P E(株)  
 (株)ジェイピーエス  
 (株)スパイキー  
 (株)ヤママ  
 (株)SNKプレイモア  
 アイ電子(株)  
 (株)中京遊技  
 DAXEL(株)  
 (株)エンターライズ

# 日本電動式遊技機工業協同組合

http://www.nichidenkyo.or.jp/